

精神保健福祉の制度・精神保健福祉論Ⅲ			単位数	履修方法	配当学年
			2単位	R or SR	3年以上
科目コード	CT4152・CT4135	担当教員	菅原 好秀		



平成24年度以降入学者→「■精神保健福祉の制度」(科目コード CT4152)

平成23年度以前入学者→「◆★精神保健福祉論Ⅲ」(科目コード CT4135)

(注) 本科目のスクーリングは平成24年度以降の「更生保護制度論」と内容が一部重複する箇所があります。

■科目の内容

「精神保健福祉法と社会保障制度」「更生保護制度と医療観察制度」を中心に学びます。特に、制度として精神障害者の支援に関連する制度、更生保護制度における関係機関や団体との連携、医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割について、現状を踏まえて理解することを目標とします。

■到達目標

- 1) 精神保健福祉の制度概要について説明することができる。
- 2) 精神保健福祉の視点から、医療観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。
- 3) 精神保健福祉法の各入院制度の活用法を説明できる。
- 4) 障害者の人権について理解して説明することができる。

■教科書(1)は「◆★福祉法学」と共通、2)は「■精神保健福祉のサービス」「■精神障害者の生活支援システム」「◆★精神保健福祉論Ⅱ」と共通

- 1) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年
- 2) 新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『改訂新版 精神保健福祉士養成セミナー6 精神障害者の生活支援一制度・システムとサービス』へるす出版、2014年 第2章
※教科書2)について2012年7月～2014年1月までの「■精神保健福祉のサービス」「◆★精神保健福祉論Ⅱ」履修登録者には上記教科書の改訂前の初版が配本されています。または日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉論』中央法規、2011年が2012年6月以前の「精神保健福祉論Ⅰ」履修登録者に配本されています。

(最近の教科書変更時期) 2014年4月

※「★福祉法学」「■精神保健福祉のサービス」「◆★精神保健福祉論Ⅱ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

※1)の教科書の配本を受けていない方は、『学習の手引き2012-2016版』巻末様式25、または『試験・スクーリング情報ブック2016』巻末用紙の「教科書特例配本希望届(無料)」をご利用いただき、郵送またはFAX(または同様の内容を記載して ugr@tfu-mail.tfu.ac.jp へてにメール)でお申込みください。

■履修登録条件

平成24年度以降入学者→この科目は「★■福祉法学」「■精神保健福祉のサービス」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

平成23年度以前入学者→この科目は「◆★福祉法学」「◆★精神保健福祉論Ⅱ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	精神保健福祉法の意義と内容	精神保健福祉法の意義と内容について学びます。	精神障害者をめぐる法律の歴史の変遷、精神保健福祉法の内容について説明できることが重要です。
2	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割	精神保健福祉法における精神保健福祉士の意義について学びます。	精神保健福祉士の意義と役割について説明できることが重要です。
3	精神保健福祉法の入院形態	精神保健福祉法の入院形態について学びます。	任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院、緊急措置入院について説明できることが重要です。
4	障害者総合支援法	障害者総合支援法の制度概要について学びます。	障害者総合支援法の制度趣旨、目的、内容について説明できることが重要です。
5	障害者総合支援法の現状と課題	障害者総合支援法の現状と課題について学びます。	障害者総合支援法の現状と課題をふまえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
6	精神保健福祉に関する行政組織	精神保健福祉に関する行政組織について学びます。	保健福祉行政の特徴について理解することが重要です。
7	精神保健福祉と更生保護制度	精神保健福祉と更生保護制度の関係性について学びます。	更生保護制度を精神保健福祉の視点から説明できることが重要です。
8	医療観察制度と更生保護制度	医療観察制度と更生保護制度の関係性について学びます。	医療観察制度創設の経緯と背景、概要、目的について説明できることが重要です。
9	医療観察制度の現状と課題	医療観察制度の現状と課題について学びます。	医療観察制度の現状と課題をふまえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
10	医療保険制度	医療保険制度の概要について学びます。	医療保険制度、健康保険、医療保険給付の状況について説明できることが重要です。
11	介護保険制度	介護保険制度について学びます。	介護保険制度の概要、介護保険給付の概要について説明できることが重要です。
12	精神障害者の生活実態	精神障害者の生活実態について学びます。	精神障害者の生活実態を現実的視点から説明できることが重要です。
13	精神障害者の居住支援	精神障害者の居住支援について学びます。	精神障害者の住居、居住形態、課題について説明できることが重要です。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
14	精神障害者と雇用・就労	精神障害者と雇用・就労について学びます。	精神障害者の一般雇用制度、労働保険制度、福祉的就労について説明できることが重要です。
15	精神障害者の生活支援システム	精神障害者の生活支援システムについて学びます。	精神障害者の生活支援の基本的考え方、生活支援システムの制度について説明できることが重要です。

■レポート課題

1 単位め	精神保健福祉の視点から更生保護制度の概要を論じてください。
2 単位め	精神保健福祉の視点から医療観察制度の概要を論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

■アドバイス

1 単位め
アドバイス

更生保護制度の保護観察、仮釈放、更生緊急保護、被害者等が関与する制度を中心に精神保健福祉の視点から言及してください。

2 単位め
アドバイス

医療観察制度の目的、背景、社会復帰調整官の役割、精神保健福祉法との関係を中心に精神保健福祉の観点から言及してください。

■科目修了試験 評価基準

当該科目の内容理解がなされているかが重要であり、論述の分量（1問あたり400～800字程度）も評価対象となる。また、法の制度趣旨、意義を述べた上で、現実との関連から自分なりの視点から述べられていることも評価の対象となる。

■参考文献

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会『更生保護制度』中央法規、2010年
- 2) 清水義恵・若穂井透編『更生保護』ミネルヴァ書房、2009年
- 3) 日本弁護士連合会刑事法制委員会編『Q & A心神喪失者等医療観察法解説』三省堂、2005年